

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業 点検・評価調書

5- -2

5-
-2

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	関連伝統文化の保存継承支援
	節	伝統文化・地場産業の振興		
事業(施策)名	2 関連伝統文化保存支援		事業主体	佐渡市社会教育課
	事業実施期間	H28～H34	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡連合商工会
事業概要	【事業目的】 佐渡金銀山関連伝統文化の保存支援により、地域住民の保存意識の向上を図る。			
	【事業内容】 佐渡金銀山に関連する伝統文化を、佐渡金銀山とともに広報誌等の媒体で紹介することにより、伝統文化保存継承活動について支援を行う。			
⑳ 事業計画と実績	【29年度計画】 能、文弥人形、鷲流狂言など伝統文化継承団体への補助を行う。 佐渡鈍翁茶会、新穂のろまん人形上演会の活動を支援する。			
	【29年度実績】 文弥人形など伝統文化継承団体への補助を行った。 佐渡鈍翁茶会、新穂のろまん人形上演会を開催し、茶会294名、のろまん人形240名の参加があった。			
課題・今後の取組	【課題】 予算に限りはあるが、多くの伝統文化団体に効果的に補助支援する必要がある。 保存したものを有効に活用してもらうための方法の検討が必要である。			
	【今後の取組】 伝統文化継承団体への補助を行う。			
事業評価	【事業の達成度】 (a ● b ・ c)			
	【事業実施の効果】 (a ● b ・ c)			
	【総合評価】 (A ● B ・ C)			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。